



スポ推よこすか

令和2年3月25日 発行

発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長 林 但

令和元年度 神奈川県スポーツ推進委員大会

令和に入って初めての神奈川県スポーツ推進委員大会が、2月2日(日)に川崎市麻生市民館にて開催されました。



開会式に先立ちアトラクションとして、ゆりがおか児童合唱団による発表があり、童謡「ふるさと」など6曲を披露しました。



次に桐光学園ダンス部の発表。部員150名のダンスは圧巻でした。



この後開会式に移りました。川口会長より昨年を



振り返り、台風の被害(特に西湘、県央、相模原、川崎地区)により予定していたイベントが中止となり残念な1年であったが、今年は東京オリンピック、パラリンピックを控えており、希望を持てる年であると述べておりました。次に表彰を行い、112名の功労者に表彰状と4名の方に感謝状が贈られ、横須賀市からは久里浜学区の濱田司氏が表彰されました。おめでとうございます。



表彰式終了後、国土舘大学柔道部監督、鈴木桂治氏(川崎市麻生区在住)による「柔道と私」という演題で基調講演がありました。鈴木氏は4回のオリンピック参加(1回目は付き人、2,3回目は選手、4回目はコーチ)し、1回目の同行では、ライバルの井上康生選手(横須賀在住)が金メダルを獲得



し、刺激を受け、次は自分が金メダルを取るという「覚悟」が芽生えたそうです。実際に次のアテネオリンピックでは100kg 超級金メダルを獲得したのですが、自身の階級である100kg級に出場できず、井上選手が出場し、ライバルの壁は超えることはできなかったそうです。現在は日本代表のコーチを務め、東京オリンピックの柔道、特に重量級は期待して応援して欲しいとのことでした。

記事 広報部 副部長 根岸 亨(北下浦)
写真 広報部 副部長 新堀 邦明(富士見)

CSY杯グラウンドゴルフ大会

1月24日(金)(曇、やや肌寒) 協議会初めての種目、グラウンドゴルフ大会が開催されました。開催場所は人工芝でお馴染みのリーフスタジアムです。

今回の大会は、一般財団法人シティサポートよこすか、横須賀市と連携して行う初めての大会です。シティサポートよこすかの文化スポーツなどの支援する制度を活用して、グラウンドゴルフのすそ野を広める点から企画しました。

昭和から平成・令和時代へとつながるスポーツで、老若男女問わず、誰もが参加できるのが特徴です。



9:30 役員スタッフ(総勢32名)による会場準備、一方では、大会に出場する各チームの選手(総勢78名)も受付を済ませました。



10:00 開会式、池田副会長の司会で始まり、林会長のご挨拶と、ご来賓の方々のご祝辞をいただきました。そして、ルールの説明後、ラジオ体操で身体をほぐし、10:30一斉にプレーが始まりました。

競技は、学区ごと、1チーム(6名)で全16のホールを回り、トータルの打数で競われます。打数の少ない程、優位となり、また全ホールにホールインワン賞がセットされ、ゲーム終了後にホールインワンチャレンジタイムもあり限定30の枠で競われました。



大会結果

- ・チーム優勝:「栗田学区」 準優勝:「池上学区あべくらクラブ」 第3位:「馬堀」
 - ・ホールインワン賞: 前半:「12」 後半:「6」
 - *一人で2回の達成者も含まれます。
 - ・ホールインワンチャレンジの部:「達成者30名」
- 以上の対象チームと対象者には、閉会式で賞品授与及び粗品の進呈がありました。

プレーヤーの視点から感じたことは、難しいけど面白い。慣れないグラウンドで、人工芝に悩まされ、メンタル面が脅かされる。1打目にゴールポストより手前だと、ストレスが溜まり、次の良い結果が出せません。(プロゴルファーの凄さが身に沁みます)

次年度以降も継続して進めます。



記事 日下部 重夫(武山)

写真 広報部 部長 鈴木 幸子(汐入) 他

令和元年度 新体力テスト測定員講習会・学校体育授業サポート講習会

2月16日(土)13時より諏訪小学校多目的室及び体育館にて二つの講習会が開催されました。

横須賀市文化スポーツ観光部スポーツ振興課の事務局の才竹さんが講師として、初めに学校体育事業サポーターの役割と必要性について説明を受けました。

学校の実情と子どもたちの実態、指導に困っている先生もいるという事、参加者17名は興味深く聴き入りました。



体育の授業に限った事では有りませんが個別の支援が必要な発達障害の子、補助があればスムーズに達成できる子などが多くいる。指導は担任が中心となりサポートは器具の出し入れから始まり、安全への配慮も重要な役目となります。

実際にサポートする時の注意点は、相手が子どもであっても人権を大切に、言葉遣いなど学校における言語環境を乱さないよう心掛ける。指導中の子どもへの伝達方法としては、動きのポイントがイメージできる様な言葉掛け(オノマトペの活用)を工夫して行うなどを学びました。

座学で得た内容をふまえてサポーターと体力テスト測定員の実践をしました。



跳び箱は台に手を置きロイター板でジャンプして腰を上げる練習方法、マットの前転後転は手が重要、組体操の補助のポイントを学びました。

新体力テスト測定員の補助のために参加者全員が実際の器具や測定方法に基づきグループになって全種目体験しました。尻もちを着いたり、息切れしたりの楽しいひと時でした。



体力向上は老若男女の目標ですが、未来に羽ばたく子ども達には何事へも対応できる基礎体力をこれから身に付けて欲しいと思います。そのためにも体育の必要性を大人が再確認し、サポーターとして学校の手助けをしていきたいと感じた有意義な講習会でした。

記事 小林 恵子(汐入)

写真 広報部 副部長 新堀 邦明(富士見)

スポーツ推進委員新年懇親会

1月24日(金曜日)横須賀中央にある「北海道」で横須賀市スポーツ推進委員協議会の新年会が、横須賀市長の上地克明様をお招きし盛大に開催されました。

今年は例年のホテル開催ではなく、少しでも多くのスポーツ推進委員が気軽に集えるように開催場所を変更しました。

参加者はスポーツ推進委員28名・顧問2名・スポーツ振興課3名、合計33名が集いました。



まず、横須賀市スポーツ推進委員協議会・林会長より、令和元年度行事への参加、特にグラウンドゴルフ大会が成功に終わったお礼の挨拶がありました。

続いて、中村顧問のもと乾杯があり楽しい歓談に移っていきました。普段なかなか交流の取れないスポーツ推進委員とも話ができて有意義な時間でした。



上地市長からは、2020 オリンピックの年でもあるのでスポーツ推進委員の力が大切であるというお話と、退席時にはツーショット写真に応じてくださるなど、市長を身近に感じる事ができました。

皆の楽しみにしていたビンゴゲームで盛り上がり時間は過ぎて行きました。



皆さん今年もスポーツ推進委員として力を合わせ頑張って参りましょう。幹事の皆さまお疲れ様でした。ありがとうございました。



記事 広報部 部長 鈴木 幸子(汐入)

写真 監事 村上 清志(高坂)

広報部 副部長 新堀 邦明(富士見)

グラウンドゴルフの始まり

グラウンドゴルフは、鳥取県の泊村という総人口3600人の小さな村から生まれました。

泊村は、1982年に文部省の高齢者スポーツ活動推進指定市町村の指定を受け、積極的に高齢者にふさわしい新しいスポーツの開発への取り組みが開始されました。新たに設置された「泊村生涯スポーツ活動推進専門委員会」が中心となって、ゴルフ場に行かなくても広場やグラウンドで楽しめるゴルフを、との考えから生まれたのが、このグラウンドゴルフです。徹底的な用具開発の工夫や計画的かつ積極的な普及努力により、翌1983年には全国組織としての協会の設立を果たしました。高度な技術を必要とせず、ルールも簡単で初心者でもすぐに取り組めるため、各地で普及しつつあります。

編集後記

一年を振り返り、新体制のもと無事に終わる事ができました。初めて取り入れたグラウンドゴルフ大会も盛況に終わり、来年も続けて欲しいとの声が多かったです。

そして、滝瀬絹子副会長が文部科学大臣賞を受賞しました。おめでとうございます。最後に、昨今、新型コロナウイルスが流行していますが、外出からの手洗い・うがい・徹底しましょう。

広報部 部長 鈴木 幸子(汐入)

ホームページ <http://sukataishi.jp>